

＜ 群馬県教育委員会 オンラインサポート授業 ＞
外国語「be 動詞②」【要点資料】

学習の要点

人やものを紹介する文やそれらを尋ねる文について言えるようになる。

【ポイント①：肯定文（「～は・・・です。」）】

男性 ▶ 彼は
This is Ken. He is kind. (こちらはケンです。彼は親切です。)
女性 ▶ 彼女は
This is Mary. She is from Boston. (こちらはメアリーです。彼女はボストン出身です。)
もの ▶ それは
That is my house. It is old. (あれは私の家です。それは古いです。)

○文の始めに来て「～は」「・・・が」という意味を表す語句のことを『主語』と言います。

this:「(近くのもの・人)これは、こちらは」/**that**:「(遠くのもの・人)あれは、あちらは」

he:「(すでに話題にあがっている男性)彼は」/**she**:「(すでに話題にあがっている女性)彼女は」/
it:「(すでに話題にあがっているものをさして)それは」

○主語の後に来て「～する。」「～です。」という意味を表す語句のことを『動詞』と言います。

isは「be 動詞」と言われています。

○英語は語順がポイントとなります。[主語+動詞+その他の語句.]という語順になります。

※短縮形 he is → he's / she is → she's / it is → it's

【ポイント②：疑問文（「～は・・・ですか。」とたずねる文）】

She is from New York. (彼女はニューヨーク出身です。)
Is she from New York? (彼女はニューヨーク出身ですか。)
Yes, she is. / No, she is not. (No, she's not. / No, she isn't.)
(はい、そうです。/ いいえ、違います。)

○疑問文では、be 動詞「is」が主語の前に出て、最後にクエスチョンマーク(?)を付けます。

[動詞+主語+その他の語句?]という語順になります。

※短縮形 is not → isn't

○疑問文の答え方…誰について、何についてたずねているかどうかを押さえること

(男性について…he/女性について…she/ものについて…it)

【ポイント③：否定文（「～は・・・ではありません。」という文）】

She is not from New York. (彼女はニューヨーク出身ではありません。)

○否定文では、be 動詞「is」の後ろに not をおきます。

[主語+動詞+not+その他の語句.]という語順になります。

※短縮形 is not → isn't

学習のまとめ

- ・ものを紹介する文：(近くのもの・人)This is ~. / (遠くのもの・人)That is ~.
- ・すでに話題に上がっている人・もののことを紹介する文：
(男性) He is ~. / (女性) She is ~. / (もの) It is ~.
- ・疑問文：be 動詞 (is) を主語の前に出す
- ・否定文：be 動詞 (is) の後ろに not をつける